

よくある課題（分散管理のデメリット）



各課でバラバラに購入・管理

部署ごとに発注・管理しており、手間と時間がかかる



在庫のムダ・不足が発生

過剰在庫によるムダや、必要なときに在庫切れが発生



コストが見えず、削減が困難

購買実績が分散し、価格交渉やコスト削減が進まない



担当者の負担が大きい

発注・検収・支払・在庫管理などの業務が煩雑



ガバナンス・コンプライアンスリスク

発注ルールが統一されておらず、統制が取りにくい

サプライドックで解決！

消耗品の購買・在庫・管理を一元化

専用のサプライドック拠点で集中管理

まとめて購入



スケールメリットで
コストを削減

一括管理



Webで見える化し、
在庫・コストを管理



KOKUYO
SUPPLY DOCK

必要な時に供給



必要なモノを必要な分だけ
迅速にお届け

ルールを統一



統一ルールで
ガバナンスを強化

期待できる効果



コスト削減

スケールメリットの創出により、
年間5～15%程度のコスト削減を実現



業務効率化・工数削減

発注・在庫確認・支払などの業務を削減し、
担当者の工数を30～50%削減



在庫の最適化

適正在庫の維持により、在庫金額を
20～30%削減、欠品リスクも低減



ガバナンス強化

統一ルール・プロセスにより、
コンプライアンスと透明性を向上



職員満足度の向上

「探す・買う・管理する」手間を削減し、
本来業務へ集中できる環境を実現

サプライドックが提供する5つの価値

1

コスト最適化



一括購買・価格交渉を通じた
スケールメリットの最大化
年間5～15%のコスト削減

2

業務プロセスの効率化



発注・在庫確認・検収・支払などの
業務を集約・標準化し、
工数を30～50%削減

3

在庫の最適管理



適正在庫の維持と可視化により、
在庫金額を20～30%削減
欠品・過剰在庫を防止

4

ガバナンス・コンプライアンス強化



統一ルール・承認フローにより、
内部統制と透明性を強化
リスクを低減

5

環境・サステナビリティ貢献



在庫の最適化・共同配送により、
廃棄ロスやCO2排出を削減
SDGs・環境目標の達成に貢献

導入後の
成果イメージ
(目安)



コスト削減効果

5～15%
(年間)



業務工数削減効果

30～50%
(年間)



在庫金額削減効果

20～30%
(年間)



発注リードタイム短縮

50～70%
短縮



CO2排出量削減効果

10～20%
(配送・廃棄ロス削減による)

総合効果

コスト・時間・ムダを削減し、
より質の高い行政サービスへ

サプライドックは、自治体の「ヒト・モノ・カネ」を最適化し、持続可能で効率的な行政運営を支援します